

■：1国の経済力を見る指標に国内総生産（GDP）があります。かつて日本は米国に次いで第2位、それが中国の台頭で第3位に。ところが一部の国際経済学者の説によると、インドが力をつけて来て日本を追い越し第3位に浮上しそうだといいますが。まあ国力の測り方にはさまざまな見方がある。第4位に下がったからといって私たちの日常生活に直接影響が出る訳けでもなし。

■：お隣の中国、韓国ともども経済力を強めて来ていますが、ここへ来て中国経済が減速傾向にあるようです。たとえば中国自動車工業協会の発表では、昨年11月の新車販売台数が2010年同月比で165万6000台で2・4%減、2カ月連続で前年を下回ったそうです。かつて日本の自動車業界も「王国米国」に追いつけ、追い越せてがんばったことがあります。モノづくりの象徴みたいな自動車、日本もがんばってほしいものです。

■：さまざまな統計数字が出るシーズンですが、日本の人口の減少傾向は依然として続いているようです。

総務省の住民基本台帳による全国の人口は1億2623万625人で、過去一年前とて12万2679人減っています。気になるのは年少人口（0〜14歳）が増えずに老年人口（65歳以上）が全体の22・83%と過去最高毎年更新しているようです。出生動向調査でも生涯に持つ子どもの数は1・96人と過去最低。2人以上産まないと人口が減るのは当然の話。住宅街を歩いていて子どもたちのやんちゃな声が聞こえてこないのは寂しいかぎり。

■：老人パワーに驚かせたのは77歳のじいさんが富山のある郵便局に押し入り、刃物で49歳の郵便局長に切りつけ重傷を負わせた揚げ句に800万円入の手提げ金庫を奪ったというお話。その前に、日ごろ行きつけの牛丼店を少年たちが襲い、5〜10万円の「小金」を奪い取る事件が多発している報道に接しただけに、この多額強奪事件にはびっくり。こんなところでおじんの底力を発揮しなくても、とつくづく思いました。

■：事件でいえば、35歳の男が数年間に9人の女性に乱暴、強姦傷害罪に問われ、静岡地裁は懲役50年の判決を下しました。有期の上限は懲

役30年のはず、東京の教員（31）で小中学生12人に性的暴行など加えた事件では懲役28年。まあ無期懲役でも良かったらしいですが、それにしても50年、28年とタダでメシを食わせなければなりません。死刑制度廃止論者にとって一考に値（あた）いするのでは。

■：型にはまった小説や論評にあきあきしていたら女流作家高村薫さんが、大阪の講演会で良い話をしていました。小説について「大震災ではトイレットペーパーよりも役に立たない。反社会的、反道徳的な快樂。読む人も書く人も自覚すべきだ」と小説の言葉は「精錬、鍛造、加工、厳選すべきだ」とのご託言。「役立たずの文学」を作家は自覚しなさい、とおっしゃっている。

■：北朝鮮の金正日労働党総書記（68）の死去で南北関係がどう動くか、これだけは三男金正恩（28）の新体制の国政運営にかかっています。指導方は未知数ですから今後、陸海、空3軍（約110万人）を掌握しきれぬかが一番心配のタネ。隣国韓国の兵力は約67万人、第2の朝鮮戦争だけは願ひ下げにして欲しいもの。

月刊公論 MONTHLY  
KORON

2月号 第45巻2号

平成24年2月1日発行 毎月15日発売  
定価890円(本体848円) 送料84円

発行人 大 中 吉 一 編集人 田崎義信 土井正彦  
発行所 株式会社社界通信社  
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラービル  
TEL.03-5379-5611代、FAX.03-5379-5616  
印刷所 株式会社廣済堂  
取次店 トーハン/日本出版販売/大阪屋/栗田出版販売

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。  
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。